

人生を変える

『出会い』がある

宮城 IYEO CAFÉ

～平成21年度内閣府青年国際交流事業参加報告会～

宮城県から内閣府の青年国際交流事業に参加した青年たちによる報告会を開催します。各国の青年たちと触れ合い、語り合った参加者たちの貴重な体験や熱い思いー みなさんも世界を語り合う時間にぜひ参加しませんか？

日時：平成22年3月20日(土) 14:00～16:30

場所：仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

(仙台市青葉区一番町四丁目1-3 / 地下鉄広瀬通駅 西5番出口より徒歩1分)

※入退場自由、参加無料

《今年度の宮城県青年の参加事業》

◇世界青年の船事業 [訪問国:インド、アラブ首長国連邦]

◇青年社会コアリーダー育成プログラム

[派遣国:イギリス(高齢者分野)、ドイツ(青少年分野)]

昨年度までに下記事業にも参加しております！

◇日本・中国青年親善交流事業

◇日本・韓国青年親善交流事業

◇東南アジア青年の船事業

◇国際青年育成交流事業(航空機派遣事業)



※当日は、上記全事業の既参加青年が多数参加します。ご興味のある方は是非足をお運びください。

宮城青年国際交流機構とは・・・内閣府の青年国際交流事業の既参加者と賛助会員からなるボランティア組織です。日本青年国際交流機構(IYEO)を本部とし、全国47都道府県にある支部組織の一つで、設立25年を迎える任意団体です。主に国際交流事業派遣にかかる活動、海外青年の受入れ、その他地域の国際交流の促進につながるようなイベントを企画・運営しています。

主催:宮城青年国際交流機構(宮城IYEO)

International Youth Exchange Organization of MIYAGI

問合せ先: miyagi.iyeo@docomo.ne.jp/miyagi_iyeo01@yahoo.co.jp

090-3128-6851(石原)

今年度、宮城県青年が参加した事業の概要です。

◆世界青年の船◆

【目的】 日本の青年の国際的視野を広げ、日本及び諸外国の青年相互の理解と友好を促進し、併せてその国際協調の精神と実践力を向上させ、もって国際社会の各分野で指導性を発揮できる青年を育成することを目的とする。さらに、文化・思想をはじめとした多種多様性を有する国際社会の縮図となる「世界青年の船での共同生活・活動」という具体的かつ実践的な経験の場を提供することを通じ、世界中の青年同士の①人的ネットワークを構築し、②共同活動を促進するなど、我が国として、人材育成という観点から目に見える形での国際貢献に寄与することを目指すものである。

【日程】 1月15日～3月3日（直前研修6日間＋本研修41日間＋帰国後研修2日間）

【内容】 1) 船内活動

- ① コース・ディスカッション ②グループ活動 ③クラブ活動 ④ナショナル・プレゼンテーション（NP） ⑤その他活動（参加青年自らが企画・運営するPYセミナーやスポーツ&レクリエーションなど）

2) 訪問国活動

- ①ディスカッション・コース別視察 ② 現地の人との交流

◆青年社会活動コアリーダー育成プログラム◆

【目的】 多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合う「共生社会」を築いていくためには、地域住民やNPO等による社会活動の充実が必要不可欠であるという認識のもと、高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の社会活動に携わる日本青年を海外に派遣し、海外の民間組織等で活動する青年リーダーとの交流を通じて、社会活動の中心的担い手となる青年コアリーダーの能力向上と、ネットワークの形成を図ることを目的とする。

【日程】 10月8日～10月20日（直前研修2日間＋本研修10日間＋帰国後研修2日間）

【内容】 各訪問国において、活動分野ごとに、以下のテーマにより社会活動の現場の視察や意見交換等を行う。

フィンランド（高齢者関連活動）：テーマ「生きがいのある高齢者の生活」

ニュージーランド（障害者関連活動）：テーマ「障害者の社会参加のための支援」

英国（青少年関連活動）：テーマ「ユースワーカーの育成の在り方」

内閣府青年国際交流事業とは

昭和34年、現天皇・皇后両陛下のご成婚記念として始まりました。今年で51周年を迎える歴史ある事業です。内閣府青年国際交流事業に参加した青年は全国に約14,000名おり、47都道府県50数カ国にネットワークを持ち、世界各地域において多方面で活躍しております。